

## 平成18年度財務状況

### 広島高速道路公社の経理方法

広島高速道路公社では、財政状態及び経営成績を明らかにするため、企業会計に準じた経理処理（発生主義、複式簿記）を行っていますが、道路資産については、料金収入等で道路資産に投資した額を償還するという事業の特徴から、その償還状況をより明確に把握できる償還準備金積立方式をとっており、企業会計において一般的に採用されている減価償却方式はとっていません。

償還準備金とは、営業中の道路から生じる毎事業年度の収支差（収益と費用の差）を積み立てたものですが、これは、道路資産に投資した借入金の償還（建設費の償還）に充当されます。したがって、民間企業という利益（黒字）とは性格が異なります。

財務諸表では、営業中の道路から生じる毎事業年度の収支差を「償還準備金繰入」として損益計算書に費用計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表に表示することにより、道路の建設費の償還状況がわかる仕組みとなっています。

平成18年度決算における償還状況については、営業中の高速道路の総資産額（要償還額）約1,436億円に対し、償還準備金は平成18年度末で約154億円（消費税還付金の累計額である償還準備積立金を含む。）となっています。

資産の部		
勘定科目	説明	金額
		億 万円
流動資産	現金・預金及び県・市等からの未収金	90 9110
固定資産		2482 6458
事業資産		
道路	営業中の道路への投資額	(1435 7787)
事業資産建設仮勘定		
道路建設仮勘定	建設中の道路への投資額	(1040 8924)
有形固定資産	建物・車両・備品等の減価償却後の額	(5 5924)
その他	敷金・電話加入権等	( 3823)
繰延資産	調査費等の額	2 6672
資産合計		億 万円 2576 2240

負債及び資本の部		
勘定科目	説明	金額
		億 万円
流動負債	短期借入金・未払金等	199 4748
固定負債	国・県・市等からの借入金の残高等	1679 6429
特別法上の引当金等		153 7978
償還準備金	供用区間の収支差の累計額	(93 2918)
償還準備積立金	消費税還付金の累計額	(60 5060)
基本金	県・市出資金の受入累計額	542 1000
剰余金	負担金等の受入累計額	1 2085
負債及び資本合計		億 万円 2576 2240

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

費用の部		
勘定科目	説明	金額
		億 万円
経常費用		
事業資産管理費		
道路管理費	営業中の道路の維持、修繕、管理の費用	9 8702
一般管理費		1 4329
一般管理費	営業中の道路の管理に係る人件費等	(1 0019)
その他	車両・備品等の減価償却費等	( 4310)
引当金等繰入		33 1023
償還準備金繰入	収益と費用の差額	(15 6343)
償還準備積立金繰入	消費税還付金	(17 4680)
受託業務費		
受託業務費	国土交通省等からの受託業務に要する費用	7 5769
業務外費用	借入金の支払利息等で、営業中の道路にかかるもの	8 7520
当期利益金	償還準備金対象分でない給与・手当戻入等	274
合計		億 万円 60 7617

収益の部		
勘定科目	説明	金額
		億 万円
経常収益		
業務収入		35 6487
道路料金収入	道路の通行料金収入	(35 1559)
その他	道路占用料等の収入	( 4928)
受託業務収入		
受託業務収入	国土交通省等からの受託業務に係る収入	7 5769
業務外収益	消費税還付金、受取利息等の収入	17 5361
合計		億 万円 60 7617

●平成18年度の通行台数

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

区分	通行台数(台)	
	年 間	1日当り
高速1号線	4,623,388	12,667
高速3号線	2,286,630	6,265
高速4号線	5,291,448	14,497
計	12,201,466	33,429